

第6部 - 第4 安全で開かれた学校環境の整備

基本的な考え方

学校は、児童・生徒にとって快適で質の高い教育環境であるとともに、市民に対して開かれた多機能な地域の拠点施設としての役割があります。そのため、計画的な耐震補強工事を行うとともに、耐震診断の結果により建替えを要することとされた学校については、補強工事に比べて対応に時間を要することから優先的な取り組みを進めていきます。また、健康への影響を考慮し、化学物質や有害物質を抑制した整備を進めていきます。そうした中で、小・中学校の「学校公園化」を推進し、運動場の芝生化や壁面の緑化を進め、都市化されたまちの中の貴重なオープンスペースとして校庭の開放や、学校図書館、校舎等の開放、また、地域の防災拠点としての活用など、各学校と地域の特性にて地域活動の拠点として充実を図っていきます。

校庭遊び場開放事業との一体化も完了した地域子どもクラブについては、設置した全公立小学校において保護者、地域団体、学校等の連携により安定した運営を図り、学校を拠点に活動する団体との連携の拡大を検討し、子どもの安全で安心な活動拠点としての充実を図ります。

中学校については、成人を中心とした幅広い年齢層の利用を想定し、主に地域の生涯学習の拠点、ボランティアなどの地域福祉の拠点、文化・スポーツの拠点として整備、開放を進めます。

学校図書館については、すべての小・中学校の整備により、授業での積極的な活用に加えて、小学校では未就学児童を中心に、中学校では大人を中心とした利用に供する方策を視野に入れて、地域開放を進めます。

子どもたちの学びと育ちの場の安全確保に向けて、学校や幼稚園、保育園等の安全対策を強化するために生活安全推進協議会や安全安心・市民協働パトロールとの連携を深め、地域社会全体で子どもを安全に育む土壌を構築し、安心して子どもを育てることのできるまちづくりを進めます。

まちづくり指標

協働指標	計画策定時の状況(平成12年)	前期実績値(平成15年)	中期実績値(平成18年)	目標値(平成22年)
開放された学校施設の利用者数	174,797人	350,240人	384,000人	419,000人

校庭・体育館・余剰教室・特別教室・学校図書館等について、市立小・中学校の開放度を示す指標です。地域の拠点施設としての学校開放をめざします。

行政指標	計画策定時の状況(平成12年)	前期実績値(平成15年)	中期実績値(平成18年)	目標値(平成22年)
学校施設の耐震化率	45.6%	57.0%	64.6%	94.9%

耐震化率は、小・中学校の耐震化進捗状況を示す指標です。耐震補強工事を推進し、学校施設の安全性の向上を図ります。

協働指標	計画策定時の状況(平成12年)	前期実績値(平成15年)	中期実績値(平成18年)	目標値(平成22年)
地域子どもクラブ事業の参加者数		2,766人	130,648人	180,000人

各地域子どもクラブ事業で行っている、地域活動・育成活動に子どもたちの参加を示す指標です。学校・家庭・地域との連携・協力により、放課後の子どもの居場所づくり事業の充実をめざします。

施策・主な事業の体系

1 安全で地域に開かれた学校施設等の整備

(1) 学校教育施設等の安全性の確保	学校、保育園等の安全対策の充実 安全に配慮した学校公園化の推進
--------------------	------------------------------------

(2)関係機関との連携強化	生活安全推進協議会等との連携
	子どもを育む地域社会づくりの推進
	みたか子ども避難所の拡充

2 学校施設の耐震化と学校公園化の推進

(1)学校施設の耐震化と施設環境の整備	学校施設の耐震補強工事・改修工事等の計画的な実施
	学校施設の整備
	校庭の拡張・学校借用地の買収
(2)学校公園化の推進	学校公園化の推進
	学校における屋外運動場の芝生化・壁面緑化等の推進
(3)周辺環境の一体的整備	公共施設の設置・改修における景観配慮の実施 (「第3部 - 第2 緑と水の快適空間の創造」参照)

3 学校の地域拠点化

(1)学校開放の充実・整備	校庭の開放
	体育館の開放
	特別教室の開放
	余裕教室の地域活用等の推進
(2)子どもの安全・安心な活動拠点としての地域開放	子どもの安全・安心な活動拠点としての学校開放の充実
	地域子どもクラブと学校を拠点として活動する青少年団体等との連携
(3)生涯学習拠点としての地域開放	生涯学習施設としての学校開放の推進 (「第7部 - 第1 生涯学習の推進」参照)
(4)福祉拠点としての地域開放	小中学校の地域福祉の拠点化 (「第5部 - 第1 地域福祉の推進」参照)
(5)文化・スポーツ拠点としての地域開放	特別教室の活用
	体育館等スポーツ施設の活用
(6)地域の防災拠点化	学校施設の防災拠点化の推進 (「第3部 - 第4 災害に強いまちづくりの推進」参照)
(7)学校図書館の整備と地域開放の実施	学校図書館の全小中学校への配置
	授業での積極的活用
	学校図書館の地域開放と市立図書館等との連携
(8)地域における人財の活用	地域における人財の活用

4 魅力ある学校環境の整備

(1)学校給食の充実	給食施設・設備の改善
	三鷹産野菜の活用
(2)教育備品の充実・整備	教育備品の充実・整備

5 地域子どもクラブ事業の拡充と学童保育所の充実

(1)地域子どもクラブ事業の拡充	地域子どもクラブ事業の拡充
	学童保育所・児童館・すくすくひろば等との連携
(2)学童保育所の充実	学童保育所の整備 (「第6部 - 第2 子育て支援の充実」参照)

6 校外学習施設の充実

(1)川上郷自然の村の充実	川上郷自然の村の利用者拡大と効率的運営
	川上郷自然の村の計画的な施設改修

主要事業（ で示しています）

- 1 - (1) - 学校、保育園等の安全対策の充実
- 1 - (1) - 安全に配慮した学校公園化の推進
- 1 - (2) - 生活安全推進協議会等との連携
- 1 - (2) - 子どもを育む地域社会づくりの推進
- 1 - (2) - みたか子ども避難所の拡充

学校や保育園等の子どもの通う公共施設の安全を確保するため、健康に影響を及ぼす化学物質や有害物質を抑制した学校環境を整備を進めます。また、児童・生徒の安全性を高めるため、平成18年度には小学校への学校安全推進員（スクールエンジェルズ）の配置及び小・中学校全校への防犯カメラの設置を完了しました。さらに、非常通報装置「学校110番」を活用しながら「セーフティ教室」などの防犯訓練を実施していきます。

市内に在住・在学する児童・生徒に防犯ブザーを貸与するとともに、生活安全推進協議会及び安全安心・市民協働パトロールとの連携を図り、市民の協力を得ながら、子どもを育む地域社会づくりを推進します。また、子どもたちの安全確保のための対策として、学校・PTA等の保護者会・地域育成団体による子どもの避難所づくりの活動を支援し、拡充を図ります。

（市・市民・関係機関・関係団体）

	計画期間(平成22年)の目標	中期達成状況(18年度末)	後 期			
			19	20	21	22
安全で開かれた学校施設等の整備	充実	実施	充実			▶
みたか子ども避難所の拡充	充実	充実	充実			▶

2 - (1) - 学校施設の耐震補強工事・改修工事等の計画的な実施

学校施設の耐震補強工事については、耐震診断結果を踏まえて計画的な補強工事を行うとともに、効果的・効率的な手法を検討していきます。また、診断結果を踏まえ、更にバリアフリー化・防災体制の確立などの観点から検討した結果、東台小学校については早期に建替えを行います。なお老朽化した学校施設についても、計画的な改修工事の実施により、快適で質の高い教育環境の実現を図ります。

スーパーリニューアルについては、第一小学校の取り組みを踏まえて、設計内容・工法などの検証を行うなかで今後のあり方を検討します。

（市）

	計画期間(平成22年)の目標	中期達成状況(18年度末)	後 期			
			19	20	21	22
第一小学校スーパーリニューアル整備事業 (事業費:約2億9千万円)	整備	外構工事完了	3 期 工 事			

学校施設の耐震補強工事 (事業費:約25億3千万円)	12校実施	五小・六小・ 中原小	七小	三小		二小
			大沢台小			
東台小学校校舎建替え工事 (事業費:約20億2千万円) 平成22年度までの事業費	平成23年度完成に向けた建設工事		南浦小	東台小体育館	羽沢小	
			検討準備	仮設校舎へ移転	現校舎解体	新校舎建設
				一中		
				五中		

2 - (2) - 学校公園化の推進

2 - (2) - 学校における屋外運動場の芝生化・壁面緑化等の推進

学校を地域の拠点として多目的に活用していくため、運動場の芝生化・壁面緑化や学校周辺の緑化の推進、校庭・体育館など施設の地域開放を進めるとともに、地域子どもクラブ事業の拡充やコミュニティ・スクールの推進など、学校を拠点とした地域活動の充実を図ります。

(市・市民・関係団体・関係機関)

	計画期間(平成22年)の目標	中期達成状況(18年度末)	後 期			
			19	20	21	22
学校における屋外運動場の芝生化・壁面緑化等の推進 (事業費:約1億4千万円)	推進		検討	1校	1校	検証・検討

3 - (2) - 子どもの安全・安心な活動拠点としての学校開放の充実

地域子どもクラブ事業を推進し、学校を拠点として活動する青少年活動団体等と連携を図り、学校を子どもの安全・安心な活動拠点として開放します。また、校庭だけでなく、学校図書館の開放や特別教室等の開放にも努め、学校を拠点に活動している団体等との連携について検討を進めます。

(市・市民・関係機関・関係団体・NPO等)

	計画期間(平成22年)の目標	中期達成状況(18年度末)	後 期			
			19	20	21	22
地域子どもクラブと学校を拠点として活動する青少年団体等との連携	連携	推進	推進			▶

- 3 - (7) - 学校図書館の全小中学校への配置
 3 - (7) - 授業での積極的活用
 3 - (7) - 学校図書館の地域開放と市立図書館等との連携

平成14年度までに全ての小中学校に学校図書館を整備し、授業等で積極的に活用して児童・生徒の調べ学習や読書活動に供するとともに、平成15年度までに地域開放を実施しました。今後は、学校図書館相互のネットワークづくりを進めるとともに、小学校では未就学児童が親子で利用する方を、また中学校では広く市民の利用に供する方を視野に入れ、市立図書館とのネットワーク化を進めます。
 (市・市民・関係機関・関係団体)

	計画期間(平成22年)の目標	中期達成状況(18年度末)	後 期			
			19	20	21	22
学校図書館の整備と地域開放	整備・活用と地域開放	開放	開放			▶

- 5 - (1) - 地域子どもクラブ事業の拡充
 5 - (1) - 学童保育所・児童館・すくすくひろば等との連携

放課後や土曜・日曜日に子どもたちが遊びやスポーツ・学習を通じて仲間づくりができるよう、学校を拠点とした子どもの居場所として全15小学校に設置した地域子どもクラブを、保護者、地域団体、学校等の連携により安定した運営をめざします。また、学校開放事業や学童保育所、児童館、すくすくひろば等と連携した活動を進めます。
 (市・市民・関係機関・関係団体・NPO等)

	計画期間(平成22年)の目標	中期達成状況(18年度末)	後 期			
			19	20	21	22
地域子どもクラブ事業の拡充	全校実施	充実(全校設置済)	充実			▶

新規・拡充事業(で示しています)

- 3 - (8) - 地域における人財の活用

学校の地域拠点化に伴い、校庭遊び場開放など従来から市民参加によって実施されている事業をさらに拡充し、学校開放や地域子どもクラブ、さまざまな拠点としての開放と活用の際に、地域との連携に基づく人財の積極的な活用を図ります。
 (市・市民・関係機関・関係団体・NPO等)

- 4 - (1) - 給食施設・設備の改善

「学校給食の充実と効率的運営に関する実施方針」に基づき、給食内容の充実、安全・衛生管理の徹底を図るため、給食施設・設備の改善を計画的に実施します。
 (市)

- 6 - (1) - 川上郷自然の村の利用者拡大と効率的運営

- 6 - (2) - 川上郷自然の村の計画的な施設改修

川上郷自然の村については、サービス向上とともに利用者拡大に努め、今後必要となる整備・改修等も含めた効率的な運営について検討します。
 (市)